

病院の実力

～埼玉編 106

医療機関名	全手術(人)	腹腔鏡手術(人)	ラジオ波治療(人)	肝動脈塞栓療法(人)
-------	--------	----------	-----------	------------

埼玉				
埼玉医大国際医療セ	125	46	0	50
県立がんセ	83	14	20	57
自治医大さいたま医療セ	37	8	41	110
埼玉医大総合医療セ	34	3	83	96
独協医大越谷	33	19	25	30
さいたま赤十字	30	3	33	—
秀和総合	26	1	0	26
上尾中央総合	24	9	21	24
川口市立医療セ	23	1	0	39
済生会川口総合	22	0	6	48
東大宮メディカルセ	19	2	10	35
さいたま市民医療セ	15	0	2	16
埼玉協同	15	2	0	28
さいたま市立	14	0	16	22
深谷赤十字	12	0	0	10
地・埼玉メディカルセ	8	0	30	22
埼玉石心会	8	0	3	3
越谷市立	7	0	0	1
小川赤十字	6	0	3	5
蓮田	4	3	0	4
済生会栗橋	3	0	0	48
イムス三芳総合	3	0	0	0
戸田中央総合	2	0	13	27
春日部中央総合	2	0	2	3
春日部市立医療セ	1	0	0	2
イムス富士見総合	0	0	0	2

群馬				
前橋赤十字	36	15	68	247
済生会前橋	22	1	99	113
伊勢崎市民	19	0	88	198
桐生厚生総合	12	0	65	66
県立がんセ	11	0	12	223
国・高崎総合医療セ	9	1	35	81
地・群馬中央	7	0	8	10
館林厚生	6	0	0	12
太田記念	5	0	0	0
原町赤十字	1	0	4	22
くすの木	0	0	53	71
公立富岡総合	0	0	6	56

千葉				
国立がん研究セ東	106	51	81	190
千葉大	69	4	167	226
亀田総合	43	11	37	24
国保旭中央	42	5	21	142
慈恵医大柏	36	6	22	84
新東京	32	0	7	4
日本医大千葉北総	30	4	0	0
県がんセ	25	2	0	5
東京歯科大市川総合	22	4	0	29
船橋市立医療セ	20	0	28	39
国保君津中央	20	0	27	79
千葉メディカルセ	17	9	7	21
成田赤十字	17	1	—	6
順天堂大浦安	15	5	43	124
国保松戸市立	15	2	36	45
国・千葉医療セ	14	0	63	26
千葉市立海浜	14	1	23	15
聖隷佐倉市民	12	0	18	16
千葉西総合	12	3	2	0
新松戸中央総合	7	0	37	37
小張総合	7	0	0	11
柏厚生総合	6	0	0	0
市立柏	5	0	23	31
千葉市立青葉	5	2	3	17
山王	3	0	18	9
千葉中央メディカルセ	3	0	0	12
安房地域医療セ	1	0	13	23
東京ベイ・浦安市立医療セ	1	0	0	0
辻仲柏の葉	1	1	0	0
地・船橋中央※	—	—	12	6

「国・」は国立病院機構、「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「—」は無回答または不明。※内科のみの回答

肝臓がん

腹腔鏡手術 慎重に導入

今回の病院の実力は、「肝臓がん」を取り上げる。一覽表では①全手術(他のがんから転移した肝臓がん含む)②腹腔鏡手術③ラジオ波治療④肝動脈塞栓療法(いずれも患者数)——を掲載し

た。全手術は開腹手術と腹腔鏡手術の合計人数を示した。治療は、がんの個数や大きさ、肝臓の機能を踏まえて選ぶ。手術は最も効果が高いが、肝機能が悪い患者は対象外だ。

近年、腹腔鏡手術が広がりつつある。ただ、肝臓は出血しやすく、手術が難しい。腹腔鏡も保険適用になっているが、各医療機関で安全性や有効性を確かめながら慎重に導入している。

ラジオ波治療は、画像で確かめながら、肝臓に針を刺して、がんを焼く。がんの個数や大きさの制限はあるが、体への負担が少なく、高齢で持病があったり、肝臓の機能が

悪かったりする患者も受けられる。肝動脈塞栓療法は、肝臓に栄養を運ぶ動脈に細い管を通して、ゼラチンなどで血管を塞いでがんを死滅させる。塞ぐ前に、抗がん剤を注入することも多い。がんの個数が多くても行える。

肝臓は沈黙の臓器と呼ば

れ、症状が進行しないと自覚症状が出にくい。原因の多くは肝炎ウイルスによる。血液検査で感染の有無を調べ、感染していれば、ウイルス除去の治療を受けながら、定期的な肝臓の状態を確かめることが大切だ。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は1月8日「血液がん」の予定です。